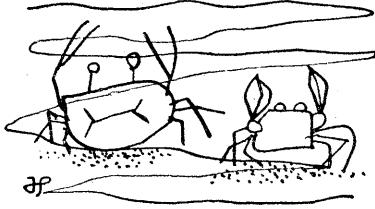


# 園児の運動能力はどのように発達するか



岡本卓夫 (徳島大学芸学部体育研究室)

岩佐宗子・北島美代子・永根久枝 (同附属幼稚園)

四宮喜久・岩脇玉枝・森 淑子・大塩幸子・乾 恵子 (徳島県板野郡成土)

豊田種子・柴折善美 (徳島県板野郡北灘幼稚園)

新入園児を迎え、今年こそは立派な保育計画をたてて満足する様な教育をしてみようと先生方にはそれぞれ貴重な時間と労力が費やされている事でしょう。しかしよく反省してみると、教師の計画や指導が、ともすれば彼等のこの時代の急速な発育や発達のために喰い違ってしまったり、取残されて行ったと云う様な場合が起りはしなかつたでしょうか。発達に即した教育の重要性は今更述べるまでもないが、特にこの時代の子供の教育に於ては発達に関する一層綿密な調査や研究が必要なのではないだろうか。一年に一回程度の調査を基準にしては充分彼等を伸ばす事が出来ないだろう。可能な範囲で、出来る限り多くのデータを集め、それに基いて彼等の実態をより具体的に把握し、より合理的な計画や指導がなされねばならないと思うのである。その一

分野として私達は幼児体育への一参考資料とするため、現在までに余り明らかになされていない、幼児の基本的運動能力の実態調査をし、入園から修園までの一カ年の間に子供達のそれ等諸能力がどの様に発達変化してゆくかの実態を調査したが、大体把握出来たと思うので、体育的な面のみならず他の面に於ても何等かの参考になれば幸いと思ひ発表することにしました。

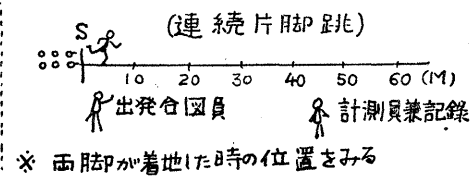
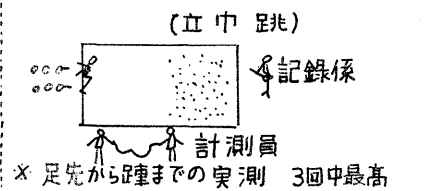
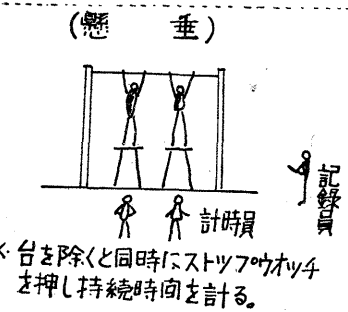
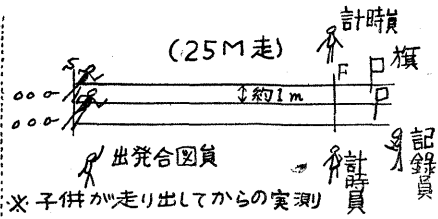
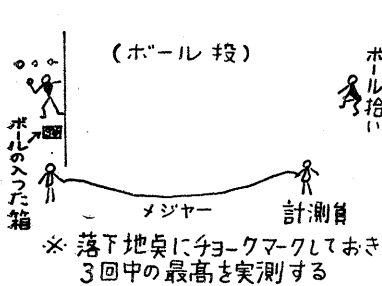
## 一、調査対象

A 年令 自昭和二十三年四月―至二十

四年三月生れ (平均満五歳児)

## B 調査人員及調査園

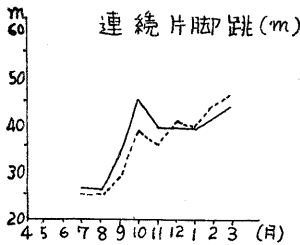
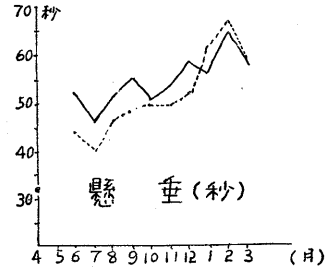
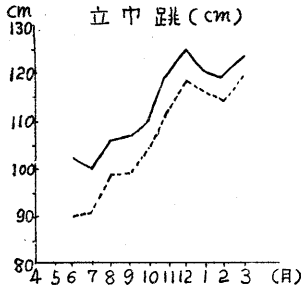
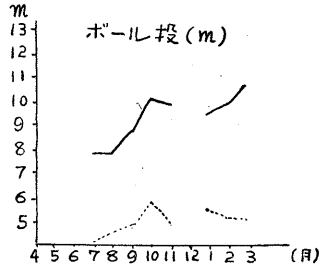
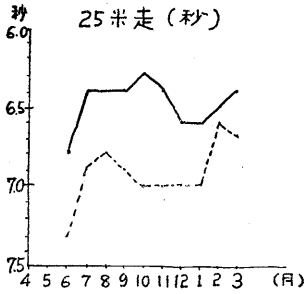
地域別	園名		性別
	男	女	
都市	徳島大学芸学部附属幼稚園	40	36
農村	徳島県板野郡土成幼稚園	30	27
漁村	徳島県板野郡北灘幼稚園	38	64
		108	197
			計



- 二、調査種目
  - 1 二五米走
  - 2 立巾跳
  - 3 連続片脚跳
  - 4 ボール投 (150g トップボール)
  - 5 懸垂
- 三、実施方法 (上図)
- 四、調査期間
  - 自昭和二十九年
  - 五月一 至 三十
  - 年三月
  - 毎月下旬、平均
  - 三日間
- 五、結果の整理 (次表)
- 六、結果の考察

④性別に見た能力  
 二五米走、立巾跳、ボール投に於ては一カ年を通してはつきりした男女差があらわれて居り、男子の方が優秀である。特にボール投に於ては、相当なひらきがあるが、これ等は概して彼等の日常生活である遊びの仕方やその経験程度によるものと思われる。又連続片脚跳、懸垂に就いては冬季に於て女子の方が優位になっている。寒いと云う事の意識は一般的にも意志が打負かされる場合が多い。殊にこれ等、連続片脚跳とか懸垂は持久力を要する種目であり従つて意志に影響される。運動の発達は一面心理的には意識の集中度とか意志の発達と密接な関係をもつていられると言われているが、この事から考察すると、女子の方が与えられた事柄を真面目にやろうとする意識の集中度が高まって、それが意志となりこの様な変化があらわれたのではないかと思う。

一般的傾向として既にこの年令に於て、運動能力の面にも、男女差が大体はつきりあらわれている。が然しそれ等の発達の型は



〔註〕

1. ———男子 .....女子を示す。
2. グラフは全体平均のものを示す。  
但し一地域の時のみはグラフに表わしてない。

男女非常によく似ている。

⑩ 季節的に見た能力

季節的には入園当初の春(五、六月)頃は未だ園生活に馴れないので、活動も不活潑であり、又テストそれ事態も彼等には初めて経験するものであつたりして、運動能力も目立って著しいものはないが、段々と馴れ気候もよくなり、服装も軽快になるに従つて運動能力も次第に向上し、夏休中の活潑な遊びの生活と、充分な休養とにより、秋(九、一〇月)頃より急速にその能力が上昇しているのがみられる。然し又一月頃の寒い季節になると、服装も自然重ね着が多くなり、運動が不活潑になるし、寒土のために意志の統制方も幾分弱められ、両者相俟つて、自然的にフラストレーションの状態にさせられ、そのため運動能力も一時的に阻止された状態になる。そして又修閑頃のぼかぼかと暖かな季節になると服装も減り、遊びも活潑になってくるので運

動能力も上昇する。但し、懸垂のみは、男女共果進的な発達形式を示しているが、これは他の種目と異って動かなくてよいので服装に支配される事が少いからである。一般的に彼等の運動能力は季節（それ故に服装とか意識、意志）に支配され乍ら発達して居り、一定の波、即ちリズムを以って発達している様に思われる。

◎地域によって、能力にどんな差異があるか。

### 1 二五米走

男 都―農―漁 の順で男女共都市が優位  
女 都―漁―農

### 2 立巾跳

男 都―漁―農 の順で農村が下位  
女 漁―都―農

### 3 連続片脚跳

男 農―漁 で農村が良い  
女 農―漁

### 4 ボール投げ

男 漁―都 で漁村が良い。  
女 漁―都

### 5 懸垂

男 農―都―漁 の順で農村が優位  
女 農―漁―都

以上の事から瞬発的な力を要する、走、跳の如きは都市が良く、懸垂とか連続片脚跳の如く、持久力を要するものは農村が良く、投等肩の力を要するものは漁村が良い。この結果は廿九年度本県教育庁保健体育課で調査した県下学徒の運動能力集計の地域別差異の結果と、ほぼ同じ結果を示して居り、環境的な特色があらわれていると思う。

## 七、結論

以上の考察を纏めてみると、

Ⓐ 園児の運動能力は多少の性的差異はあるけれどもその発達過程は非常に類似している。特に投に於ては男女差が大きいから取扱いに充分研究を要する。

Ⓑ 園児の運動能力は季節に依りそれ故に服装によって支配されるから、活潑な時期には動的单元を、不活潑な時期には静的

单元を取り入れること。

◎ 園児の運動能力は意識の集中度に相当関係すること。

① 園児の運動能力は一定のリズムを以って発達してゆくこと。

② 園児の運動能力は偏差が大なること。

大体以上の様な事が考えられると思うが指導や計画に当ってはこのような点を考慮に入れておかねばならないであろう。

尚本研究の方法其の他に科学性を欠いた点もあるが、園児一般の傾向がやや理解出来ると思うので報告する。

×

×

×

×

×